

皮膚科

1. スタッフ

医員（客員教授） 出光 俊郎
科長（准教授） 前川 武雄
病棟医長（シニアレジデント） 福井 伶奈
外来医長（シニアレジデント） 松本 崇直
シニアレジデント 5名

2. 診療科の特徴

認定施設

日本皮膚科学会専門医主研修施設

認定医

日本皮膚科学会皮膚科専門医

前川武雄 梅本尚可 松本崇直

福井伶奈

日本臨床皮膚外科学会皮膚外科専門医

梅本尚可

日本皮膚科学会皮膚悪性腫瘍指導専門医

前川武雄

がん治療認定医機構がん治療認定医

前川武雄

3. 診療実績

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 1,171人

再来患者数 24,499人

1日平均患者数 105人

2) 入院患者数（病名別）

病名	患者数
皮膚良性腫瘍	26
皮膚悪性腫瘍（手術、化学療法、紫外線療法、放射線治療など）	80
丹毒、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎	17

乾癬（紫外線療法、生物学的製剤投与）	1
水疱症（天疱瘡、類天疱瘡）	22
薬疹、中毒疹、蕁麻疹	35
アトピー性皮膚炎・湿疹	0
帯状疱疹、カボジー水痘様発疹症	3
膠原病	0
脱毛症	2
その他（手術あり）	6
その他（手術なし）	55
合計	247

3-1) 中央手術室の手術件数（病名別）

病名	件数
皮膚悪性腫瘍	42
皮膚良性腫瘍	16
感染症	0
皮膚潰瘍	6
合計	64

3-2) 外来手術件数

腫瘍摘出術・皮膚生検 921件

3-3) 術後合併症件数（中央手術室）

なし

4) 化学療法など 症例・数（入院患者）

悪性黒色腫 2件

有棘細胞癌 2件

5) 放射線療法症例・数（入院患者）

有棘細胞癌 1件

6) その他の治療症例・数

ナローバンドまたは PUVA 紫外線照射症	
例数	1 日平均 30 例
皮膚悪性リンパ腫に対する紫外線治療	
症例数	1 日平均 15 例
脱毛症 スteroid 全身投与（パルス療法含む）	20 例
乾癬 生物学的製剤投与	53 例

7) クリニカルインディケーター

(1) 死亡症例 4 例

8) 主な検査

内服テスト	12 件（入院）
パッチテスト	70 件
プリックテスト	24 件
光線テスト	8 件
発汗テスト	2 件（入院）

4. カンファランス

教授回診：毎週水曜日

臨床カンファランス：毎週水曜日

病理カンファランス：隔週水曜日

術前カンファランス：毎週水曜日

抄読会：隔週火曜日

真菌勉強会：1 回／3 ヶ月

5. 研究・学会活動

英文原著	14 編
和文原著	24 編
著書・総説	9 編
国内学会発表	44 題
国外学会発表	0 題

6. 部門・部署ごとの事業計画、2024年の目標

現在、皮膚科入院の大多数を占めているのは皮膚悪性腫瘍、自己免疫性水疱症、重症薬疹、重症感染症など大学病院ならではの比較的重篤な疾患である。特に2023年度からは、皮膚外科手術、皮膚悪性腫瘍診療を長年専門としている科長が赴任したこともあり、これまで他科あるいは他病院に手術や薬物治療を依頼していたような症例も、自施設で治療を完結できるようになった。これまで通りあらゆる皮膚疾患に対応しつつも、皮膚外科・皮膚悪性腫瘍分野の拡充を図るため、2024年からは専門外来として皮膚外科外来を立ち上げた。また、これまで通り近隣病院との連携強化を継続し、逆紹介可能な疾患は近医でのフォローをお願いしつつ、転院先の確保や早期退院を行える体制の確立と同時に、他院からの緊急疾患や転院紹介患者をスムーズに受け入れられる院内体制強化も図りたいと考えている。

研究面では当科開設時からの菌状糸肉症およびセザリー症候群の100名以上の患者について統計解析、アトピー性皮膚炎、マラセチア毛包炎、脂漏性皮膚炎のマイクロバイオーームについて明治薬科大学と共同研究を進めている。さらに、2023年度から皮膚悪性腫瘍に関する全国的な多施設共同研究への参加や、医師主導治験とそれに付随する観察研究へ参加している。